

8月の大雨に係る被害状況等について

昨日行われた「災害支援プラットフォーム第7回緊急対策会議」の内容を踏まえ、本日14:00時点で把握した現地状況ならびに関係団体の対応についてご報告します。

○現地の状況

情報共有会議の開催を受け、JVOADでは、現地のコーディネーター役として、情報共有会議を運営している「佐賀災害支援プラットフォーム（SPF）」のサポートを行っています。

- ・9月5日開催の「佐賀災害支援プラットフォーム第7回緊急対策会議」に約25名（約13団体）が参加し、被害状況、活動状況を共有
- ・当面の間、毎日、同時刻、場所で開催予定 *会議室は変更になる可能性があるため現地で要確認
- ・技術系支援団体5団体が協力して、「テクニカルネットワーク佐賀」を開設
- ・大町町では、活動中も油の匂いで気分が悪くなることもある、片づけ後も匂いが残る可能性がある
- ・タオルはどの地域でも足りている
- ・家財の排出が終わった後、何をボランティアに頼んでいいか分からないという住民も多い
- ・台風13号の接近が不安

○災害ボランティアセンター

福岡県内の災害ボランティアセンターは通常ボランティアセンターとして相談対応
佐賀県では、5か所の市町で災害ボランティアセンターが開設され、ボランティア活動を継続
開設状況については、全国社会福祉協議会 被災地支援・ボランティア情報を確認ください。

URL：<https://www.saigaivc.com/>

*台風13号接近のため、9月7日（土）、8日（日）の活動については事前に要確認

○その他

- ・佐賀県内の避難者は下記の通り（9月6日7:00現在）
 - 武雄市 77名、避難所5か所
 - 大町町 73名、避難所2か所（合計150名）
- *武雄市、大町町ともに、9月4日に避難指示解除
- ・本日、9月6日（金）19:00～ SPF主催「佐賀災害支援プラットフォーム緊急対策会議」が開催
場所：佐賀商工ビル内会議室
- ・9月6日（金）、福岡県にて「第2回令和元年九州北部豪雨災害情報共有会議」（仮）が開催
場所：福岡県吉塚合同庁舎5階 福岡県NPOボランティアセンター会議室
福岡県内、佐賀県の状況について情報共有を行う予定（主催：NPO法人ANGEL WINGS）

○今後について

引き続き、県、社会福祉協議会、SPFと連携して、「佐賀災害支援プラットフォーム緊急対策会議」をサポートしながら、フェーズにあわせた相談対応などを行っています。